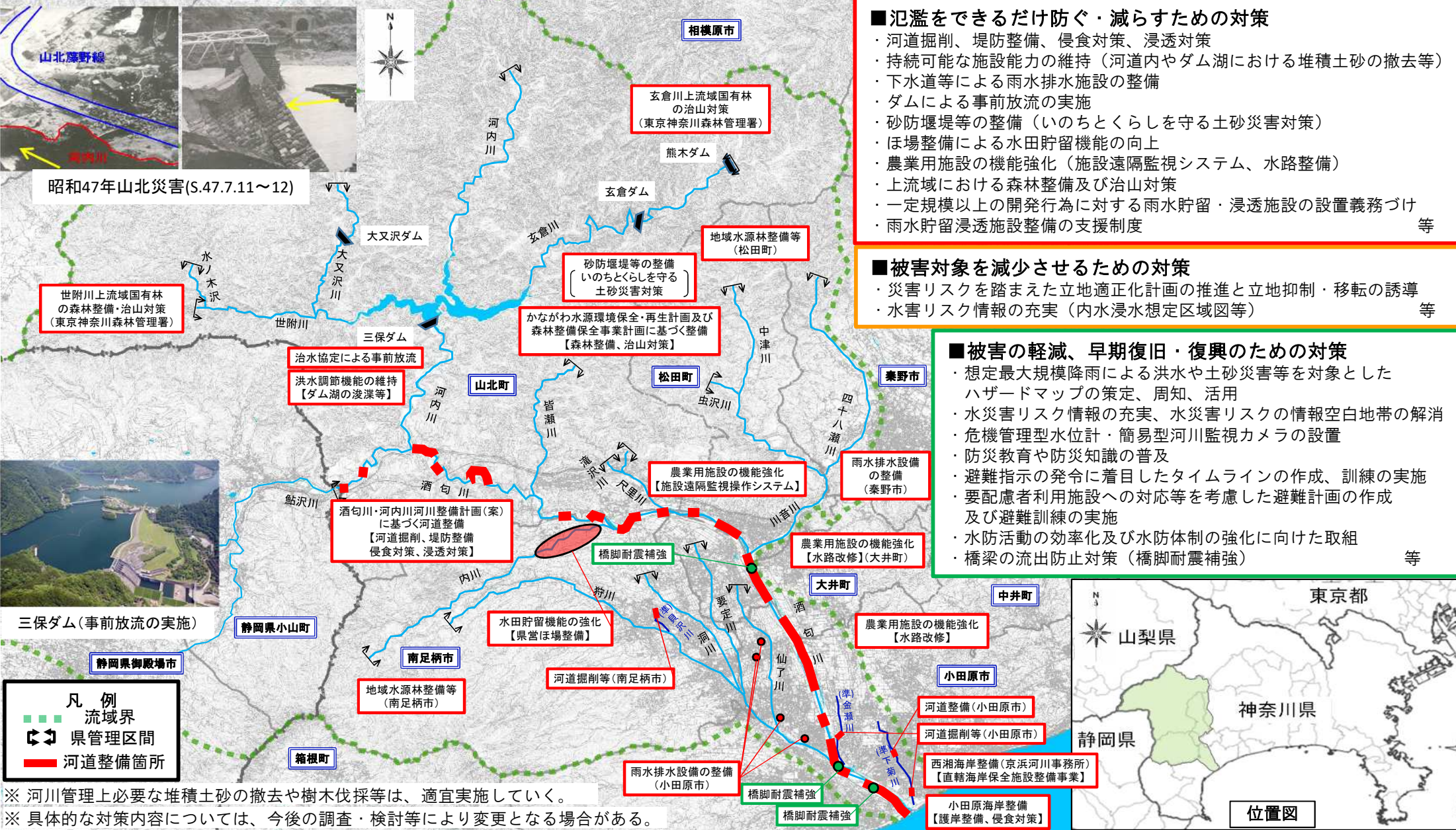


～河道掘削、堤防整備等により浸水被害の軽減及び流域治水対策の推進～

○ 令和元年東日本台風では、各地で戦後最大を超える洪水により甚大な被害が発生したことを踏まえ、酒匂川水系においても、ハード・ソフト一体となった実効性のある事前防災対策を加速していくために、以下の取組を実施していくことで、酒匂川本川においては年超過確率1/100（日雨量355mm）の規模の洪水を安全に流下させ、流域における浸水被害の軽減を図る。



- 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策**
- ・ 河道掘削、堤防整備、侵食対策、浸透対策
 - ・ 持続可能な施設能力の維持（河道内やダム湖における堆積土砂の撤去等）
 - ・ 下水道等による雨水排水施設の整備
 - ・ ダムによる事前放流の実施
 - ・ 砂防堰堤等の整備（いのちとくらしを守る土砂災害対策）
 - ・ ほ場整備による水田貯留機能の向上
 - ・ 農業用施設の機能強化（施設遠隔監視システム、水路整備）
 - ・ 上流域における森林整備及び治山対策
 - ・ 一定規模以上の開発行為に対する雨水貯留・浸透施設の設置義務づけ
 - ・ 雨水貯留浸透施設整備の支援制度

- 被害対象を減少させるための対策**
- ・ 災害リスクを踏まえた立地適正化計画の推進と立地抑制・移転の誘導
 - ・ 水害リスク情報の充実（内水浸水想定区域図等）

- 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策**
- ・ 想定最大規模降雨による洪水や土砂災害等を対象としたハザードマップの策定、周知、活用
 - ・ 水災害リスク情報の充実、水災害リスクの情報空白地帯の解消
 - ・ 危機管理型水位計・簡易型河川監視カメラの設置
 - ・ 防災教育や防災知識の普及
 - ・ 避難指示の発令に着目したタイムラインの作成、訓練の実施
 - ・ 要配慮者利用施設への対応等を考慮した避難計画の作成及び避難訓練の実施
 - ・ 水防活動の効率化及び水防体制の強化に向けた取組
 - ・ 橋梁の流出防止対策（橋脚耐震補強）

凡例
 ●●● 流域界
 ⇄ 県管理区間
 ■ 河道整備箇所

※ 河川管理上必要な堆積土砂の撤去や樹木伐採等は、適宜実施していく。
 ※ 具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。



- 酒匂川水系では、県、市町等が一体となって、以下の手順で「流域治水」を推進する。
- 【短期】 河川における対策と合わせて、農業用排水施設の機能強化や森林整備・治山対策等を進める。
- 【中期・中長期】 引き続き、取組み事業を進めると共に、河川における対策として、河道掘削、堤防整備、侵食対策、浸透対策等を完成させる。
- あわせて、治水協定に基づくダムの事前放流を実施すると共に、立地適正化計画の推進及び立地抑制・移転の誘導等を進める。また、避難体制の強化や観測機器の設置拡大等によるソフト対策を実施する。

区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	河道掘削、堤防整備、侵食対策、浸透対策	神奈川県	酒匂川・河内川河川整備計画に基づく河川整備		
	護岸整備(準用河川)	小田原市	下菊川護岸整備		
	ダムによる事前放流の実施	神奈川県	治水協定に基づく事前放流を実施		
	雨水排水施設の整備	小田原市 秦野市	寺下第一雨水幹線等整備		
			第2号公共下水道事業		
	水田の貯留機能の向上	神奈川県	県営ほ場整備事業(内山地区)		
	農業用排水施設に係る機能強化	神奈川県 大井町	湛水防除事業等 金田堰、和田堰の水路整備		
上流域の森林整備等	東京神奈川森林管理署 神奈川県、 南足柄市、松田町	水源かん養又は山地災害防止の機能維持増進を図るための森林整備及び治山対策 かながわ水源環境保全・再生計画及び森林整備保全事業計画に基づく森林整備及び治山対策 地域水源林整備			
被害対象を減少させるための対策	水害リスク情報の充実(内水浸水想定区域)	秦野市、南足柄市	ハザードマップへの内水浸水想定区域の反映、周知		
	リスクが高い区域における立地抑制・移転誘導(立地適正化計画の推進)	小田原市、秦野市、 南足柄市、松田町	災害リスクを踏まえた立地適正化計画の推進及び立地抑制・移転の誘導		
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	ソフト対策のための整備	神奈川県	危機管理型水位計・簡易型河川監視カメラ等の観測機器の設置拡大		
	避難体制等の強化	小田原市、秦野市、 南足柄市、大井町、 松田町、山北町、 開成町	大規模氾濫減災協議会における取組方針に基づき実施		
	渡河部の橋梁に係る流出防止対策	神奈川県	橋脚耐震補強		

気候変動を踏まえた
更なる対策を推進